

“街道テクテク甲州道中” No. 9 (2019-5-19)

参加者：碓貴臣、後藤幸子、染谷みどり、高野泰三郎、政芳一、黛政男、三木和幸、矢崎文彦、木村芳一

行程：鳥沢駅→大月駅 8km

鳥沢駅→福地権現神社（上鳥沢宿）→井上本陣跡→西ノ宮神社（朱塗りの社殿）→諏訪神社→稲荷社→猿橋→郷土資料館→円行寺（猿橋宿）→三嶋神社→駒橋発電所（街道から見下ろした）→厄王大権現→秋葉大権現常夜灯（駒橋宿）→三嶋神社→大月駅前の居酒屋“いろり亭”で反省会

・晴れたり曇ったりの天候であり、今回の歩きの距離は 8km と余裕がありました。日本橋からの総距離は 97km となり、一応この大月を終点としました。

・今回の歩きはほぼ桂川に沿っており、途中の下鳥沢宿、上鳥沢宿あたりの街道には宿場の面影が残る家が所々にありました。

・桂川を横切る猿橋は古来、日本の三大奇橋の一つと言われ、橋を含めた景観は素晴らしいものでした。橋げたは水面から 31m の高さであり、橋脚を設けるのが難しいので両岸から張り出した 4 層のはねぎによって支えられていました。今の橋は耐久性を高めるために、完全な木材製でなく、H 鋼材を木で囲ったものを使用しているとのことです（郷土資料館の説明）。

・大月に近づいたところで、道から 1907 年に運用が開始され、現役の駒橋発電所を見下ろすことができました。また道に関し発電所の反対側に、桂川の上流 4km から取水した水を落とす導水管が設けてありました。発電にはフランシス水車が使用されていたとのことで、その類似機が発電所の庭に展示されていました。ここで発電した電力は東京早稲田の発電所に送られていたとのことです。発電所に見とれてそのまま進んで行ったのですが、その道は間違いであることになりかなり進んでから気づき、導水管の所まで戻って左上に行く道に入り、中央線の線路を越えました。

（木村芳一）

